

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・山田新)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	核燃料の再処理工場の現状と工事・申請進捗状況を調査した。 青森県上北郡六ヶ所村 参加議員：菅沼・山田		
年月日	2025年9月4日～2025年9月5日	金額	103,290円

目的	再処理工場の状況を確認して今後のエネルギー政策の検討に活かす																
使途	青森県視察交通費、宿泊費																
政務活動・ 県政との 関連性	静岡県には浜岡原子力発電所があり、核燃料サイクルを構築するうえで再処理工場の現状把握は必須																
<<領収書貼付枠>> ・往路航空費（羽田 - 青森）20,570円 ・復路航空費（三沢 - 羽田）17,930円 ・往復新幹線代（清水駅 - 品川駅）12,740円 ・宿泊代 13,750円 ・国内線空港施設使用料 900円 ・ジャンボタクシー代 37,400円（交通アクセスが不便なため、青森空港 - 宿泊施設 - 六ヶ所再処理工場 - むつ小河原石油備蓄基地 - 三沢空港）																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>お取引内容</th> <th>CH</th> <th>お支払金額</th> <th>お預かり金額</th> <th>残高</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>09/01</td> <td>振込・振替</td> <td>NET</td> <td>103,290</td> <td></td> <td></td> <td>シマカサコートラベル</td> </tr> </tbody> </table>				日付	お取引内容	CH	お支払金額	お預かり金額	残高	備考	09/01	振込・振替	NET	103,290			シマカサコートラベル
日付	お取引内容	CH	お支払金額	お預かり金額	残高	備考											
09/01	振込・振替	NET	103,290			シマカサコートラベル											

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるものである。	103,290円	100%	103,290円

県 外 調 査 概 要 書

2025 年 9 月 5 日

会派名・議員氏名
ふじのくに県民クラブ・ 山田 新

<p>目 的</p>	<p>核燃料再処理工場の状況を確認して今後のエネルギー政策の検討に活かす</p>
<p>年 月 日</p>	<p>2025 年 9 月 4 日～2025 年 9 月 5 日</p>
<p>場 所</p>	<p>① 六ヶ所再処理工場 ② むつ小河原石油備蓄基地</p>
<p>内 容</p>	<p>1 行程 9/4 清水駅→羽田空港→青森空港→宿泊施設(翌日の出発が早いいため前泊した) 9/5 宿泊施設→視察①→視察②→三沢空港→羽田空港→清水駅</p> <p>2 応対者 日本原燃株式会社品質保証部副部長 [REDACTED] 六ヶ所げんねん企画株式会社サイクル広報事業部ディレクター [REDACTED]</p> <p>3 聴取内容 視察① 電力会社が出資している日本原燃株式会社は再処理工場、MOX 燃料工場、ウラン濃縮工場、低レベル放射性廃棄物埋設、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理の 5 事業を行っている。審査待ちで現状稼働していないのが再処理工場、MOX 燃料工場、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理施設である。この中で重要な役割を果たすのが、ウランやプルトニウムを取り出す再処理工場である。現在、日本で使用されている MOX 燃料は、すべてフランスで加工されたものだが、今後使用済燃料の再処理を日本国内だけで完結できることを目標としている。社員は 3000 人、外注先も含めると 9000 人が働くエリアであり学校、病院他生活のための施設が完備されている。地元雇用が 67%と雇用や地域の税収に貢献している。</p> <p>視察②</p>

	<p>六ヶ所村には、万が一の時のために石油を貯めておく「国家石油備蓄基地」や、大規模風力発電など、さまざまなエネルギー関連施設が点在しており、六ヶ所村の真ん中に再処理工場を含む「原子燃料サイクル施設」が位置している。</p> <p>4 県政への反映</p> <p>再処理工場は発電所とは違う設備であり、そもそも審査がその2つを同列に見るべきではないといった声も聞かれたが、浜岡原発同様、安全性をPRすることに力を入れている。完成・稼働した暁には日本全体での核燃料サイクルが動き始めることとなり、浜岡原子力発電所に対する認識も変わってくるであろう。審査の進捗に期待が持たれる。</p> <p>石油備蓄基地はセキュリティ対策やその位置づけを知ってもらうためのPR活動など工夫が凝らされている。また、タンクの色を工夫して好感度を高めるなど、元来無機質と思われる設備の魅力向上に取り組んでおり、県民の理解を上げるうえで参考になる取り組み。</p>
--	---

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。